

2023年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社フロンティア 上場取引所 福
 コード番号 4250 URL <https://all-frontier.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田紀之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 松前亮 (TEL) 092(791)8688
 四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第3四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第3四半期	1,447	15.3	84	86.6	80	128.4	57	100.2
2022年11月期第3四半期	1,254	14.2	45	△38.7	35	△52.5	28	△48.2

(注) 包括利益 2023年11月期第3四半期 65百万円(21.2%) 2022年11月期第3四半期 53百万円(△9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年11月期第3四半期	円 銭 82.75	円 銭 —
2022年11月期第3四半期	41.33	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年11月期第3四半期	百万円 1,141	百万円 415	% 36.4
2022年11月期	1,004	367	36.5

(参考) 自己資本 2023年11月期第3四半期 415百万円 2022年11月期 367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年11月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
2023年11月期	—	10.00	—	—	—
2023年11月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,270	18.4	146	142.4	140	216.0	105	168.9	151.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年11月期3Q	694,600株	2022年11月期	694,600株
2023年11月期3Q	一株	2022年11月期	一株
2023年11月期3Q	694,600株	2022年11月期3Q	694,493株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより社会経済活動の正常化が進み、景気に回復基調が見られたものの、資源価格や原材料価格の高騰、円安の進行、国内においては急激な物価上昇もあり、本格的な回復には時間を要する状況にあると思われま

す。このような状況の中で、当社グループ(当社、連結子会社)は、PB販売事業では、資材の高騰や急激な為替の変動に対応すべく、必要に応じて為替予約等を行うことや、販売価格の見直し、コスト削減を実施しました。

OEM/ODM事業におきましても商品の安定供給に努めながら、コスト削減等の対策を実施しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,447,298千円、(前年同期比15.3%増)、営業利益84,999千円(前年同期比86.6%増)、経常利益80,711千円(前年同期比128.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益57,480千円(前年同期比100.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① PB販売事業(Private Brand 販売事業)

自動車用品販売を主とするPB販売事業は、半導体不足によって停滞していた自動車の生産が改善されつつあり、自動車の新車販売台数は、2022年12月から2023年8月までの期間で前年同期比114.99%(2023年9月1日発表の一般社団法人「日本自動車販売協会連合会」統計資料より)となり、当社のサイドバイザーやフロアマット、ナンバーフレームの販売数も増加しております。

その他にもインバウンドの回復によるレンタカーやカーシェアリング等の需要の増加に伴う車両の入れ替えや、フロアマット工場の操業開始によって、サイドバイザーとフロアマットのセット販売が可能となる等、商品ラインナップが豊富になったことによって販売が好調に推移いたしました。

この結果、PB販売事業の業績は、売上高1,037,809千円(前年同期比27.6%増)、セグメント利益159,123千円(前年同期比53.6%増)となりました。

② OEM/ODM事業(Original Equipment Manufacture/Original Design Manufacture 事業)

電子玩具販売を主とするOEM/ODM事業では、前連結会計年度と比べて製品出荷予定時期が9月~11月に集中することになったため、当第3四半期連結累計期間においては減収減益となりましたが、入学式シーズン、夏休みを見据えた製品出荷は当初の予定通り推移し、今年のクリスマスシーズンに向けての受注や人気キャラクター製品の引き合い、商談も好調で、現在製品の量産を行っております。

この結果、OEM/ODM事業の業績は、売上高409,488千円(前年同期比7.2%減)、セグメント利益20,993千円(前年同期比20.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ136,947千円増加し、1,056,137千円となりました。現金及び預金の増加98,222千円、商品及び製品の増加35,448千円、前渡金の増加79,368千円及び売掛金の減少64,536千円等が主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ142千円減少し、85,516千円となりました。有形固定資産の増加3,023千円、無形固定資産の増加629千円及び投資その他資産の減少3,795千円等が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ58,658千円増加し、498,295千円となりました。短期借入金の増加13,194千円、1年以内返済長期借入金の増加9,772千円、未払金の増加14,220千円及び未払法人税等の増加17,583千円等が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ30,218千円増加し、228,200千円となりました。長期借入金の増加25,622千円及び資産除去債務の増加4,784千円等が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ47,926千円増加し415,158千円となりました。要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益57,480千円、配当金の支払い17,365千円、為替換算調整勘定の増加7,811千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月13日に発表いたしました通期連結業績予想についての変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	418,068	516,290
売掛金	195,962	131,425
商品及び製品	235,446	270,894
前渡金	44,504	123,872
その他	25,227	13,675
貸倒引当金	△18	△21
流動資産合計	919,190	1,056,137
固定資産		
有形固定資産	76,791	79,814
無形固定資産	1,042	1,671
投資その他の資産	7,825	4,030
固定資産合計	85,659	85,516
資産合計	1,004,849	1,141,653

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,740	12,076
短期借入金	349,967	363,161
1年内返済予定の長期借入金	34,418	44,190
未払法人税等	1,944	19,527
その他	41,565	59,339
流動負債合計	439,636	498,295
固定負債		
長期借入金	193,609	219,231
その他	4,372	8,969
固定負債合計	197,981	228,200
負債合計	637,617	726,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	57,635	57,635
資本剰余金	37,276	37,276
利益剰余金	234,921	275,036
株主資本合計	329,834	369,949
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,397	45,208
その他の包括利益累計額合計	37,397	45,208
純資産合計	367,231	415,158
負債純資産合計	1,004,849	1,141,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
売上高	1,254,704	1,447,298
売上原価	838,281	919,341
売上総利益	416,423	527,956
販売費及び一般管理費	370,863	442,957
営業利益	45,559	84,999
営業外収益		
受取利息	5	633
為替差益	-	3,003
雇用調整助成金	1,721	-
利子補給金	1,419	1,419
その他	122	251
営業外収益合計	3,269	5,308
営業外費用		
支払利息	6,150	9,390
為替差損	7,287	-
その他	48	205
営業外費用合計	13,486	9,595
経常利益	35,342	80,711
特別利益		
固定資産売却益	-	1,026
特別利益合計	-	1,026
税金等調整前四半期純利益	35,342	81,738
法人税、住民税及び事業税	2,706	17,602
法人税等調整額	3,930	6,655
法人税等合計	6,636	24,258
四半期純利益	28,706	57,480
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,706	57,480

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	28,706	57,480
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	25,177	7,811
その他の包括利益合計	25,177	7,811
四半期包括利益	53,883	65,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,883	65,291
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PB販売	OEM/ODM	計		
売上高					
外部顧客への売上高	813,245	441,459	1,254,704	—	1,254,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	813,245	441,459	1,254,704	—	1,254,704
セグメント利益	103,566	26,511	130,078	△84,518	45,559

- (注) 1. 「調整額」は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PB販売	OEM/ODM	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,037,809	409,488	1,447,298	—	1,447,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,037,809	409,488	1,447,298	—	1,447,298
セグメント利益	159,123	20,993	180,117	△95,117	84,999

- (注) 1. 「調整額」は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。